



## 世界脳週間 2019



### 講座概要

「世界脳週間」は脳や神経研究の意義・重要性を一般に知ってもらうことを目的として、世界的規模で行われているキャンペーンである。

日本での「脳週間」は2000年以降「NPO法人 脳の世紀推進会議事務局」が主体となり、主に高校生を対象に全国各地の脳を研究している機関との共催で開催されている。

群馬大学では医学部の神経科学グループ15分野の協力で実施する。

催しは、午前の部で脳神経の最先端研究についての講演。午後の部では脳研究の面白さを紹介する体験学習を行う。

※講座用HP 4月開設予定

実施責任者：大学院医学系研究科教授 松崎 利行

### □講義日程

日 程		講 義 内 容	講 師
第 1 日	6 月 16 日 (日)	<p>10:00</p> <p>§</p> <p>12:00</p> <p><b>【午前の部 講演会】</b>  <b>「脳の病気と遺伝子の関係」</b>            多くの遺伝性疾患では、遺伝子の配列の異常が存在し、有害なタンパク質が作られるなどして疾患を引き起こすとされています。今回のお話では、脳に関わる病気と遺伝子異常の関係についての研究を紹介します。</p> <p><b>「画像から病気をみつける脳の働き ～ヒトの目・人工知能（AI）の目～」</b>            画像診断医がCTやMRIなどの医療画像を見る時に働く脳の仕組みと、人工知能（AI）が深層学習によって病変を認識する際のニューラルネットワークの仕組みについて、実際のCT画像を見ながら紹介します。</p>	<p>大学院医学系研究科 附属教育研究支援センター 准教授 定方 哲史</p> <p>医学部附属病院 放射線部副部長・准教授 中島 崇仁</p>
	13:00 § 16:00	<p><b>【各研究室で体験学習】</b>            各グループに分かれて各研究室での体験学習</p>	